

ヒト由来ピルビン酸キナーゼM2、組換え型

Cat. No. NATE-0938

Lot. No. (See product label)

はじめに

 \square 明 ピルビン酸キナーゼ(PK)は、解糖系の最後のステップを触媒する重要な解糖酵素であり、ホ

スホエノールピルビン酸からADPにリン酸基を転送して、1分子のATPと1分子のピルビン酸を

生成します。

別名 細胞質甲状腺ホルモン結合タンパク質 (CTHBP); M2-PK; OPA相互作用タンパク質3 (OIP-3);

PKM2; ピルビン酸キナーゼ3 (PK3); 筋肉アイソザイムピルビン酸キナーゼ; p58; ピルビン酸キナーゼ; ホスホエノールピルビン酸キナーゼ; ホスホエノールトランスホスホリラーゼ; ピルビン酸キナーゼ (リン酸化); フルオロキナーゼ; フルオロキナーゼ (リン酸化); ピルビン酸キナーゼ; ピルビン酸キナーゼ; ピルビン酸ネスホトランスフェラーゼ; ATP:ピルビン酸2-O-ホスホトランスフェラー

ゼ

製品情報

種 人間

由来 E. coli

形態 pH7.5のリン酸緩衝液、NaCI、DTT、および炭水化物安定剤を含む凍結乾燥粉末。

*CAS*登□番号 9001-59-6

分子量 58 kDa

活性 > 100 ユニット/mg タンパク質

単位定義 1ユニットは、pH 7.6、37 °Cの条件下で、1 mMフルクトース-1,6-ビスリン酸の存在下で、

1.0 μ moleのホスホエノールピルビン酸をピルビン酸に \square 換します。

保管・発送情報

保存方法 -20°Cで保管してください